

埼玉育ちのグローバル人

言葉が相手に伝わって、同じ世界が開ける。つながる。

第2回 「忙しい人はただ管理が苦手なだけです」

外国人総合相談センター埼玉 スペイン語相談員
島袋初井ハビエル



埼玉県マスコット「コバトン」



多くの外国人と日本人に会うことで、たくさんのサプライズや興味ある話をたくさん聞きました。私の信条(モットー)は「常に自分の好きなことをする」です。一秒でも一分でもいいから人生を最大限に楽しむことが必要であり、大切であると私は思います。



パリの友人フランソワ モルバン一家と

大半の日本人は、明日何が起こるか分からないにもかかわらず、非常に長いスパンで将来を計画していることに、非常に驚いています。日本人の友人は、「予防策」と呼ばれることを教えてくれますが、ラテンアメリカではその言葉はほとんど使われていません(笑)。

多方面にわたる仕事をしているおかげ?で、成田空港、飛行機内、日本やペルーでの出発前待機している間など何度も信じられない場所で相談者やら生徒さんやらにばったり会うことが度々あります。先日は、ドーハ空港で友人と偶然に出会い、

びっくりしてしまいました。

～お互いに助け合わないなら、

誰が助けてくれるんだ!～

ある日、日本に帰化した若いペルー出身の相談者がハローワークに来ました。全く日本語は話せないし、やる気がない、人生の目標もみえない人でした。労働関係(ハローワーク)の相談員として、彼に寄り添い、いろんなアドバイスをしました。例えば、「日本で生活をするには、まずは日本語を勉強することが一番良い、まだ若いから物事を行うためにはより努力を払い、成長しないと人生楽しめない」。その後、姿をみせなかったのですが、もしかしたら言いすぎたかなとも思いました。彼のためを思って真剣に話したのですが、少し後悔しました。



オリンピックセミナーにて・ペルー大使

2年後、私はペルーに数日間一時帰国しました。たまたま、帰国した日に大学に従弟を迎えに行きました。そうしたら、なんとそのペルーの大学で、日本でつくアドバイスをしたあの彼に再会したのです！ 全くの偶然です。思いがけないことなのでお互いにびっくりし、「君はここで何をしているの？」と、聞きました。すると、「島袋が日本で僕に言ったこと、忘れませんか？ 勉強して、しっかりしないと人生、成功することはできないと言いましたよね。」と答えたのです。このサプライズで喜びのあまり抱き合い、涙が自然と流れました。現在、彼は大学で国際ビジネスと日本語を勉強しています。



いじめのセミナーにて



ペルー国会議員選挙の在外投票・埼玉支部



オリンピックセミナーにて

私は非常に感動し満足し、その瞬間、日本において外国人に適切なアドバイスすることがどれだけ価値があるものかということを改めて認識しました。「お互いに助け合わないなら、誰が助けてくれるんだ」と自分に言いました。ちなみに私も外国人ですが。